

超解像技術と光応用技術・計測

開催日 2016年 3月 15日 (火)

主催:公益社団法人精密工学会メカノフォニクス専門委員会

このたび精密工学会メカノフォニクス専門委員会では、「超解像技術と光応用技術・計測」シンポジウムを企画しました。光応用技術のなかで最も重要な画像技術において、高精度化のためには分解能をあげることが求められています。昨今では様々な超解像技術が提案されています。精密工学の視点から最新の超解像技術の動向と将来について議論します。企業の研究・開発者、大学や研究機関の開発者から学生まで多くの皆様のご参加をお待ちしています。

開催日時 2016年3月15日(火) 13:00 ~ 16:20

会場 東京理科大学 野田キャンパス 講義棟 1階 K102室 (大会会場内 T室)

プログラム

司会 金沢大学 安達 正明 氏 , キヤノン 稲 秀樹 氏

時間	講演題目	講師
13:00 ~ 13:15	イントロダクトリートーク「超解像技術と光応用技術・計測」	関西大学 新井 泰彦 氏
13:15 ~ 14:00	ナイキスト周波数を超える非線形超解像度技術 4K/8K用リアルタイム超解像技術	工学院大学 合志 清一 氏
14:00 ~ 14:45	劣化復元技術	ライトロン 江口 満男 氏
14:45 ~ 15:30	蛍光顕微鏡における超解像技術	オリンパス 藤井 信太朗 氏
15:30 ~ 16:15	リソグラフィにおける超解像技術	東京工芸大学 渋谷 真人 氏
16:15 ~ 16:20	クロージング・リマークス	宇都宮大学 大谷 幸利 氏

※※プログラムは1月27日現在の情報です。都合により変更となる場合がございます。何卒ご了承の程お願い申し上げます。

切削加工専門委員会40周年記念シンポジウム

開催日 2016年 3月 16日 (水)

切削加工の科学とその展望

主催:公益社団法人精密工学会切削加工専門委員会

このシンポジウムは、1975年に設立した切削加工専門委員会の40周年事業として企画したものです。切削加工が学問として「切削加工学」となり、切削加工を一つの加工技術としてではなく、科学的にその現象を解明する研究が進められてきました。このシンポジウムでは、国内外から切削における第一人者の招待講演を通じて、切りくず生成に関する切削現象のモデル化、切削冷却技術における流体解析、工具摩耗と仕上げ面の科学について紹介します。

開催日時 2016年3月16日(水) 9:30 ~ 12:00

会場 東京理科大学 野田キャンパス 講義棟 1階 K101室 (大会会場内 S室)

プログラム

司会 東京電機大学 松村 隆 氏

時間	講演題目	講師
09:30 ~ 10:30	Modelling and simulating chip formation in metal machining	University of Leeds Thomas H C Childs 氏
10:30 ~ 11:15	切削加工におけるクーラントの役割 — MQL切削と高圧クーラントについて —	東京大学 帯川 利之 氏
11:15 ~ 12:00	切削加工における仕上げ面生成機構と工具摩耗機構	広島大学 山根 八洲男 氏

※※プログラムは1月27日現在の情報です。都合により変更となる場合がございます。何卒ご了承の程お願い申し上げます。